

# 飛田雄一 阪神淡路大震災、 そのとき、外国人は？

ISBN 978-4-906460-50-2 C0036 ¥410E

神戸学生青年センター出版部、B5、58頁、定価410円+税、2019.7

※購入希望者は 574円（送料162円共）を郵便振替で送金ください。82円切手7枚（574円分）でもOKです。郵便振替 01160-6-1083 公益財団法人 神戸学生青年センター

e-mail info@ksyc.jp HP http://ksyc.jp/

阪神淡路大震災から二四年が過ぎました。来年の一月には二五年、四半世紀となります。震災の時には本当にいろんなこと、いろんな出会いがありました。当時、「普通一年間に会う人の一〇年分の人に震災後の一周年で会った」と言っていました。

私は震災後、主に被災外国人の支援にあたりました。神戸学生青年センターでは被災留学生・就学生（就学生の在留資格はその後なくなりました）の支援にあたり、地域の多くの市民団体と協力して作った神戸外国人救援ネットでは、一部の外国人に適用されなかった治療費、弔慰金問題等に取り組みました。

震災後一〇年（二〇〇五年）、二〇年（二〇一五年）のときに、この「震災と外国人」をテーマにまとめおこうと考えました。が、なかなかまとまりませんでした。それなりに系統的に書こうと思いましたが、これがいけなかつたようです。

このまま時が過ぎてはいけないと思い、今回このような冊子として発行することにしました。文章は当時のままであります。臨場感があつていい（？）ともいえますが、その時々に必要に迫られて書いたものなので、内容的な重複も多くあります。

文章はほぼ時系列的に配置しました。学生センターニュースだけは最後にまとめて収録しました。

大震災はもう起こってほしくないですが、本冊子が震災時に苦しい立場に立たされる外国人をみんなで協力して支援するための材料となることを願っています。（まえがきより）



## ＜目次＞

- 地中の怪獣が私の足を！（『むくげ通信』一四八・一四九号合併号、一九九五・三） 02
- 阪神大震災と外国人  
　　—オーバーステイ外国人の治療費・弔慰金をめぐって—（同通信） 03
- 続・阪神大震災と外国人  
　　—災害弔慰金支払い問題を中心に—（同通信一五〇号、一九九五・五） 09
- 続々・阪神大震災と外国人（同通信一五一号、一九九五・七） 12
- 阪神大震災を思う  
　　—地震以前のことが地震以後に起こっている（『GLOBE』五号、一九九六春） 14
- 外国人の支援はどう行なわれたか（『月刊自治研』四三七号、一九九六・二） 15
- 外国人グループ—阪神大震災地元NGO連絡会議・外国人救援ネットのとりくみ  
　　『いのちを守る安心システム～阪神淡路大震災から学ぶ～』（一九九六・一一） 21
- 阪神・淡路大震災から2年  
　　—地震以前のことが地震以後に起こってる（『地球市民』二八号、一九九七・二） 26
- 阪神大震災と外国人—留学生・就学生的被害とオーバーステイ外国人の治療費—  
　　（『奪われた居住の権利—阪神大震災と国際人権規約』一九九七・四） 28
- 阪神淡路大震災から一〇年をへて—震災と外国人の関わりから、  
　　多文化共生社会を展望する—（『季刊民俗学』第一一一号、二〇〇五・一） 39
- NGO神戸外国人救援ネットのこれまでの歩み—ダイジェスト版—  
　　（『NGO神戸外国人救援ネット一〇周年記念誌』二〇〇五・二） 42
- 被災外国人の治療費・弔慰金問題（同記念誌） 45
- 行政とNGO神戸外国人救援ネット—GONGOの歴史（同記念誌） 49
- この世の中、捨てたもんじゃない—阪神大震災で被災した留学生・就学生的支援活動  
　　（神戸学生青年センター『センターニュース』二七号、一九九五・四） 52
- 震災後八カ月、センターは元気にやっています—セミナーも再開し、  
　　新たに奨学金、日本語サロンも—（同ニュース二八号、一九九五・九） 54
- いよいよ発足「六甲奨学基金」一九六年四月から毎月五万円の奨学金を支給します  
　　（同ニュース二九号、一九九五・一二） 55
- 阪神大震災・六甲奨学基金から古本市へ（同ニュース三六号、一九九八・四） 56